

平成24年度 在宅医療連携拠点事業 成果報告会 資料

平成25年3月8日
一般社団法人 横須賀市医師会
在宅医療連携拠点「かもめ広場」





横須賀市医師会の概要

- ・ 会員数（445）
- ・ 診療所数（238）
- ・ 病院数（12）
- ・ 在宅診療を実施している診療所（78）
- ・ 在宅療養支援診療所届出診療所（36）

横須賀市医師会の在宅医療推進の取組み

10～12年 国・県地域連携推進モデル事業

『高度医療機器の共同利用システム』 『24時間在宅医療連携システム』

10～15年 「三浦半島在宅医療連絡会議」 在宅医療検討会/勉強会

17年 『病診連携紹介・逆紹介システム&マップ』

18～20年 国・県地域連携推進モデル事業

『地域連携クリティカルパス』 『地域連携外来管理システム』

20～22年 横須賀市地域医療連携助成事業

『在宅医療ネットワークミーティング』 『地域医療連携マップ』

24年度 在宅医療連携拠点事業「かもめ広場」開設



横須賀市医師会在宅医療連携拠点 「かもめ広場」の特徴

1 行政と太いパイプでの連携

- ・横須賀市健康部地域医療推進課を窓口とする連携

2 在宅医療連携拠点「チーム衣笠」[※]との連携

- ・設置主体の特徴を生かした活動と役割分担

3 三者の連携の実際

- ・月1回のミーティング
- ・横須賀市が開催する在宅療養連携会議に参加
- ・三者が協働して事業の計画から実施までを行っている

(※ 社会福祉法人日本医療伝道会)



1) 多職種連携の課題に対する解決策の抽出

多職種合同研修会の開催（500名以上の参加）

第1回「これからどうなる?! 在宅療養」

第2回「退院時の在宅医療連携」

第3回「横須賀市における在宅療養連携の将来」

第4回「市民のための在宅医療・介護の見本市」



在宅医療ネットワーク
ミーティングの開催

「在宅(看取り)医療における
多職種連携推進を考える」



包括的ケア会議への参加



2) 在宅医療従事者の負担軽減の支援

医師のための在宅医療
セミナーを開催

辻 哲夫 先生による
『かかりつけ医と
在宅医療の推進』

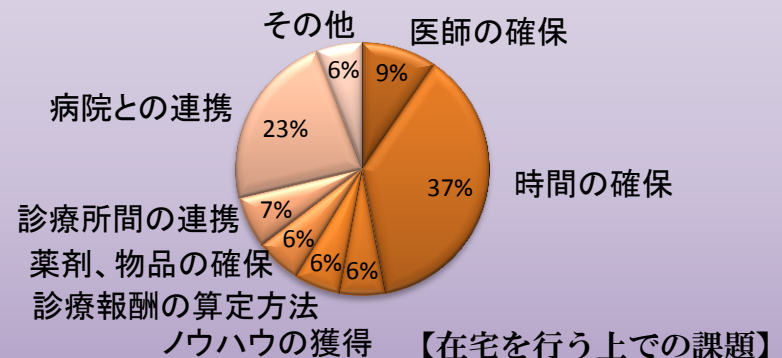


強化型連携支援診療
所の届け出状況調査

地域医療連携のための
マップ作成 (資源の把握)

在宅医療地域グループ
ミーティングの支援

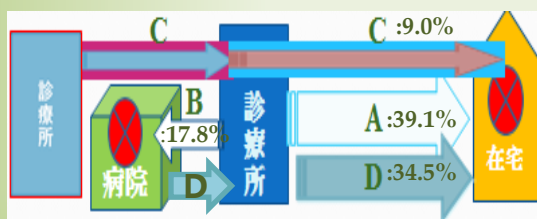
医師に対するアンケート
調査の実施 (2回)



「みとり連携に関するネットワークづくり」 アンケート結果から

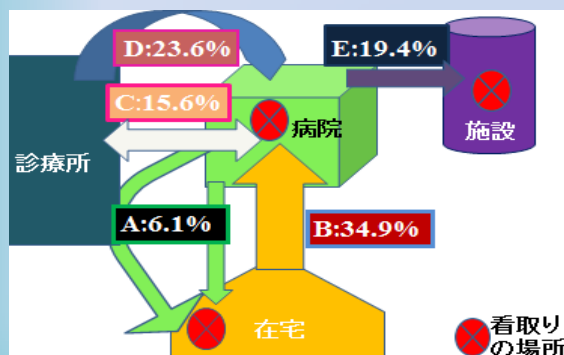
☆ 看取りに至る対応がしにくい診療経緯は？

● 診療所の回答



- 1位 : 他の診療所から転院してきて、在宅で看取った患者 (C)
- 2位 : 病院から退院後 (または紹介されて) 在宅で看取った患者 (D)
- 3位 : 自院の在宅診療中、病状悪化、入院先で亡くなった患者 (B)
- 4位 : 自院の外来診療から在宅診療に移行して看取った患者 (A)

● 病院の回答



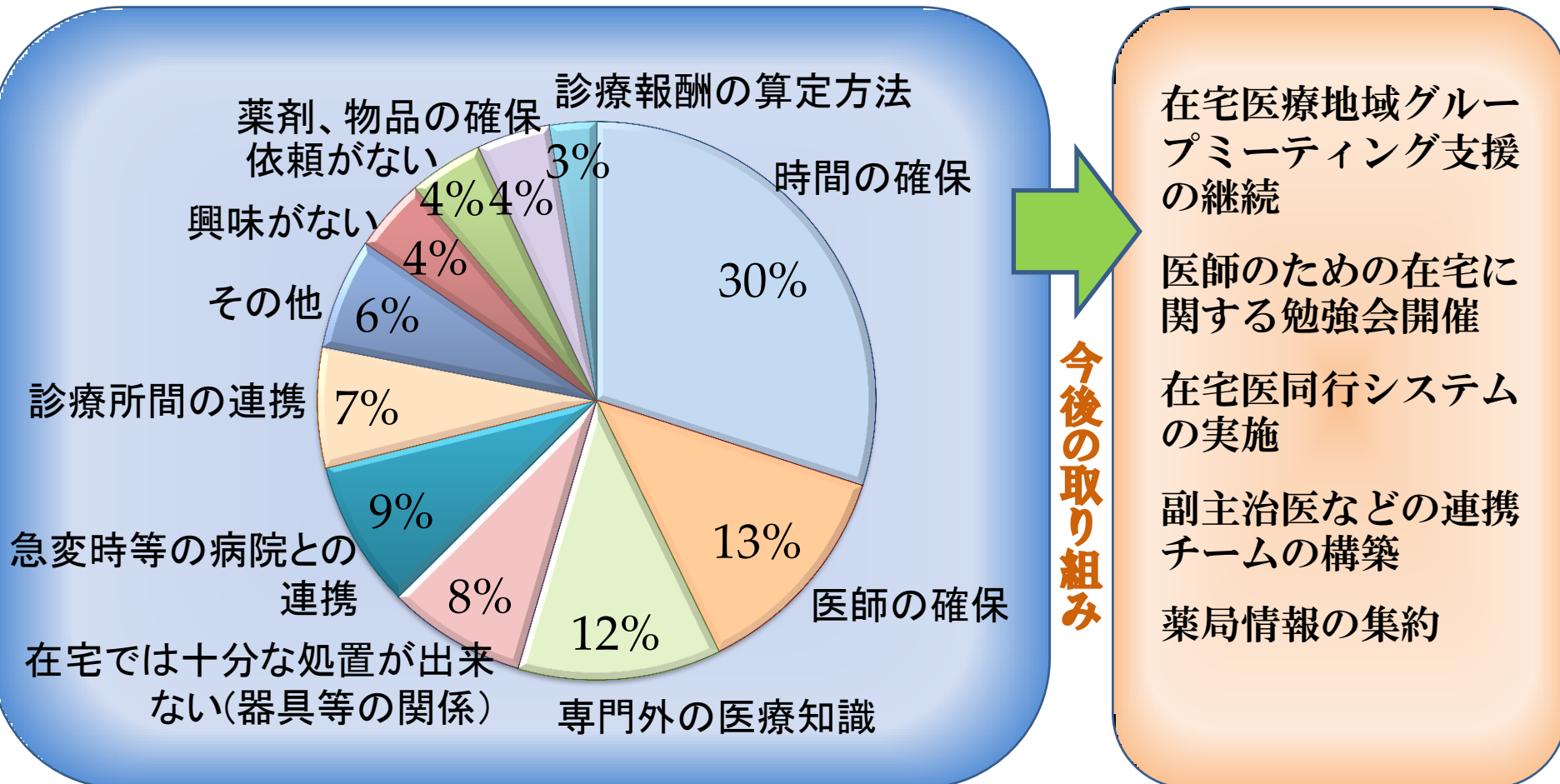
- 1位 : 診療所から入退院後、他の施設に転出した患者 (E)
- 2位 : 診療所から入退院後、最後は病院でみとった患者 (D)
- 2位 : 診療所または自院外来から入退院後、最後は診療所での在宅医療に移行した患者 (C)
- 3位 : 外来診療から、入院せず在宅医療に移行した患者 (A)
- 4位 : 外来診療から、自院に入院したのち、みとった患者 (B)

今後の取り組み

在宅診療医の病院登録制度の提案

医師に対するアンケート調査の実施結果から

☆ 在宅医療を行わない又は今後取り組みたいが、取り組めない理由は？





3) 効率的な医療提供のための多職種連携

関係団体への説明と協力依頼や意見交換会の開催





4) 在宅医療に関する地域住民への普及啓発

市民公開講座を開催
「在宅療養シンポジウム」

中村 仁一 先生による
「自然死のすすめ」
(参加者650名)



民生委員・児童委員協議
会において事業説明

(市内15か所 参加者560名)

市民のための
街角出前在宅医療講座
開催 (6回 参加者235名)

広報誌の発行
「かもめ広場だより」
(2回 各2,000部)

5) 在宅医療に従事する人材育成

ケアマネジャーのための在宅医療セミナーの実施

第1回 これからの医療と介護の連携について (参加者 延べ544名)

第2回 高齢者と薬剤管理

第3回 退院前カンファレンスのための基礎知識

第4回 在宅歯科診療と口腔ケア

第5回 がんの種類と進行

第6回 高齢者に多い疾患と日常生活・ケアの留意点

リーダー研修会等への参加

- ・ 都道府県リーダー研修会
- ・ 平塚市多職種連携フォーラムパネリスト参加
- ・ 地域リーダー研修会への参加
- ・ 南関東ブロック発表会への参加
- ・ 在宅医療連携拠点事業成果発表報告会資料報告
- ・ 全国在宅医療連携拠点事業ポスター発表会参加

神奈川県地域包括
推進セミナーに
講師の派遣

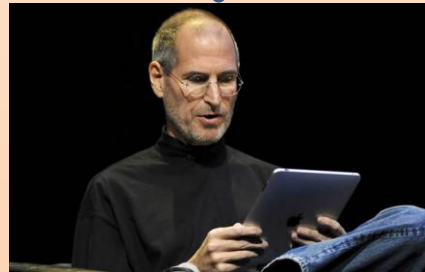
6) iPadによる在宅医紹介支援システム

うちのおばあさんを
診てくれる先生は
いませんか？



来週退院する患者さんの
在宅を診てくれる先生は

iPadで検索しましょう。



処置や地域の絞り込み検索で、
最適な在宅療養支援診療所を
検索することができるサービスです。



もう安心ですよ。

結 果

- 市民の在宅医療に関する関心は高い
- 在宅医療を提供する医師の確保が難しい
- 診療所が在宅医療にかかわるためには、医師の負担軽減の仕組みが必要である
- 在宅療養にかかわる多職種連携が更に重要になる

今後の課題

- 多職種との効率よい連携のためのシステムづくり
- 医師の負担軽減を図るため、グループ化と副主治医の確保や病診連携の強化（バックベッドの確保）
- 多職種の連携強化のための意識と技術を高める研修
- 市民の在宅医療に関する意識啓発
- I Tを活用した情報共有のシステムづくり